

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーネックス
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大屋 和雄
 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	1,290	6.0	81	—	86	—	55	—
26年6月期第1四半期	1,217	△7.4	△14	—	△13	—	△7	—

(注)包括利益 27年6月期第1四半期 73百万円 (—%) 26年6月期第1四半期 5百万円 (△76.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	3.37	—
26年6月期第1四半期	△0.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
27年6月期第1四半期	8,241	—	5,151	—	62.5		310.99	
26年6月期	7,836	—	5,111	—	65.2		308.57	

(参考)自己資本 27年6月期第1四半期 5,151百万円 26年6月期 5,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,572	5.3	99	662.5	97	445.5	59	259.7	3.56
通期	5,115	2.9	151	59.0	151	43.1	94	42.5	5.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期1Q	16,600,000 株	26年6月期	16,600,000 株
27年6月期1Q	34,505 株	26年6月期	33,251 株
27年6月期1Q	16,565,798 株	26年6月期1Q	16,568,080 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権による経済政策と金融緩和政策の効果により、緩やかな回復基調が続き、雇用、所得環境は改善傾向にあり、公共投資、設備投資も堅調に推移しました。一方で円安によるエネルギーコストの上昇が企業収支に大きな影響を及ぼしており、消費税率引き上げによる駆け込み需要の反動が自動車、住宅関連等の在庫増加を生じるなど生産は弱含みの推移となりました。海外では、米国の消費、生産は緩やかに増加し回復基調にあるものの、欧州の景気は足踏み状況にあり、中国の経済成長は減速する等海外景気動向や世界的な政情の緊迫化等による先行き不透明感が根強く残っています。

このような経済状況の下で、当社グループは、生産性の向上に取り組み原価低減を図り収益性向上に努めました。主力取引業界である自動車、建設機械、産業工作機械の中で、建設機械受注は低調でしたが、自動車関連受注が微増、産業工作機械関連受注が好調に推移したため、売上は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。また、ガス・電力費等の製造コストは上昇しましたが、経費の削減に努めたため前年同四半期連結累計期間と比較して増益となりました。

こうした事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,290百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益は81百万円（前年同四半期は14百万円の営業損失）、経常利益は86百万円（前年同四半期は13百万円の経常損失）、四半期純利益は55百万円（前年同四半期は7百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、円安効果により輸出環境は好転していますが、輸出数量は横ばい推移しており、主力取引業界である自動車関連需要は微増、建設機械は引き続き低迷しました。一方で産業工作機械の受注は好調に推移し前年同四半期比約2割増加しました。

一方でガス、電気料金は高値推移したため、生産性の向上及び人件費、諸経費削減に取り組み全力で収益の確保に努めました。

風力発電については、増速機用歯車の熱処理を主に手がけておりますが、北米のシェールガス等低価格エネルギー開発や再生可能エネルギー全量固定買取制度の制度面での混乱等から風力発電機事業は停滞しており、当社受注も低迷しております。

また、近畿、東海、北陸を事業拠点とする目的で子会社(株)オーネックステックセンターを設立しましたが、当第1四半期連結累計期間での事業活動は未実施のため業績への影響は軽微でした。

これらの結果、売上高は1,150百万円（前年同四半期比7.2%増）、セグメント利益は67百万円（前年同四半期は29百万円のセグメント損失）となりました。

②運送事業

運送事業につきましては、道路舗装関連取引先の開拓等受注拡大に努め、機械などの重量物の搬送取り扱いが安定していたため、売上は堅調推移しました。また、軽油価格は上昇しましたが、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は140百万円（前年同四半期比2.4%減）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比35.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して405百万円増加し、8,241百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことなどによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して365百万円増加し、3,089百万円となりました。これは主に賞与引当金が増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して39百万円増加し、5,151百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,937,783	2,332,035
受取手形及び売掛金	1,727,059	1,755,787
製品	9,925	14,426
仕掛品	41,959	23,960
原材料及び貯蔵品	89,639	88,348
繰延税金資産	13,650	34,771
その他	108,924	108,410
貸倒引当金	△337	△339
流動資産合計	3,928,604	4,357,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	876,607	862,597
機械装置及び運搬具(純額)	336,060	326,525
土地	1,838,851	1,838,851
リース資産(純額)	142,870	139,988
その他(純額)	86,775	84,817
有形固定資産合計	3,281,165	3,252,779
無形固定資産	145,262	133,095
投資その他の資産		
投資有価証券	208,147	231,146
繰延税金資産	153,669	146,057
その他	118,646	120,090
投資その他の資産合計	480,463	497,294
固定資産合計	3,906,891	3,883,169
繰延資産	965	1,077
資産合計	7,836,461	8,241,648

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	388,554	393,417
短期借入金	257,252	303,032
1年内償還予定の社債	178,000	207,000
未払金	136,692	152,229
未払費用	218,516	217,942
未払法人税等	70,681	59,313
賞与引当金	17,408	66,499
その他	164,751	168,979
流動負債合計	1,431,856	1,568,413
固定負債		
社債	223,000	205,000
長期借入金	446,242	694,274
退職給付に係る負債	456,167	460,044
その他	167,269	162,241
固定負債合計	1,292,678	1,521,560
負債合計	2,724,534	3,089,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,496,797	3,519,441
自己株式	△4,878	△5,063
株主資本合計	5,083,713	5,106,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,042	54,374
退職給付に係る調整累計額	△11,829	△8,872
その他の包括利益累計額合計	28,212	45,502
純資産合計	5,111,926	5,151,674
負債純資産合計	7,836,461	8,241,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,217,227	1,290,738
売上原価	930,002	942,353
売上総利益	287,224	348,385
販売費及び一般管理費	301,577	266,829
営業利益又は営業損失(△)	△14,352	81,555
営業外収益		
受取利息	1,191	1,078
受取配当金	241	467
受取賃貸料	1,956	2,141
スクラップ収入	3,027	2,105
その他	1,357	4,580
営業外収益合計	7,774	10,373
営業外費用		
支払利息	4,254	3,292
支払手数料	1,493	1,514
社債発行費	809	809
営業外費用合計	6,557	5,616
経常利益又は経常損失(△)	△13,135	86,312
特別利益		
固定資産売却益	387	1,328
特別利益合計	387	1,328
特別損失		
固定資産除却損	0	96
特別損失合計	0	96
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△12,748	87,545
法人税、住民税及び事業税	24,684	54,674
法人税等調整額	△30,163	△22,906
法人税等合計	△5,479	31,767
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7,269	55,777
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,269	55,777

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△7,269	55,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,455	14,332
退職給付に係る調整額	—	2,957
その他の包括利益合計	12,455	17,289
四半期包括利益	5,186	73,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,186	73,067
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,073,748	143,478	1,217,227	—	1,217,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	62,806	62,806	△62,806	—
計	1,073,748	206,284	1,280,033	△62,806	1,217,227
セグメント利益又は損失(△)	△29,334	11,104	△18,230	3,877	△14,352

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額3,877千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,150,702	140,035	1,290,738	—	1,290,738
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	64,918	64,918	△64,918	—
計	1,150,702	204,954	1,355,657	△64,918	1,290,738
セグメント利益	67,032	7,136	74,169	7,386	81,555

(注) 1. セグメント利益の調整額7,386千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。